

2025 年度 4 月・9 月入学

教育学部科目等履修生

（教職課程・博物館学芸員）

募集要項 別紙

（別紙①）	教育実習申込要項・	1
（別紙②）	介護等体験申込要項・	3
（別紙③）	英語科教育法の履修条件・	5
（別紙④）	教員免許状・博物館学芸員資格取得要件・	10

教育実習を行うには、以下の条件を満たすと同時に、所定の手続きを行う必要があります。

(1) 前提条件

【中学校・高等学校】以下①～②の条件を満たしていること。

- ①前年度までに、以下科目の単位を修得済みであること（教職課程認定上、同等の科目でも可）。
 - ・「教科に関する専門的事項」のうち 16 単位以上 ※1
 - ・「教職概論」「教育課程編成論」「教育基礎総論 1」「教育制度総論」「教育心理学」「教科教育法 1、教科教育法 2」※2「教育方法・技術論」「特別支援教育」「生徒理解と教育相談」
 - ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」のうち **2 領域(各 2 単位)以上**
- ※1「教科に関する専門的事項」は、教育実習で担当予定の教科で「16 単位以上」修得してください。
- ※2「教科教育法 1、教科教育法 2」は教育実習で担当予定の教科の「教科教育法 1、教科教育法 2」を修得してください。ただし、中学社会、高校の地理歴史、公民の中で 2 教科以上の免許状を取得する場合（例：社会と公民）は、教育実習担当予定の教科に関わらず 1 教科（社会か公民どちらか）の「教科教育法 1、教科教育法 2」の単位を修得すれば、「教育実習前提条件」を満たしているものとみなします。
- ②当該年度に教員免許状取得に必要な科目を全て修得見込であること。

【小学校(初等教育学専攻卒業の学部科目等履修生対象)】

前年度までに、以下科目の単位を修得済みであること（教職課程認定上、同等の科目でも可）。

- ・「教科に関する専門的事項」を 3 科目以上
- ・「教職原論」「初等教育学概論 I」「教育の制度と経営(小)」「教育課程編成原論」「教育方法原論」「教育心理学原論」「特別支援教育原論」
- ・「教科教育法」を 4 科目以上
- ・「特別活動原論」「道徳教育原論」「教育相談原論」「生徒指導・進路指導原論」のうち 3 科目以上。
- ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」のうち **2 領域(各 2 単位)以上**

【小学校(教育学研究科(高度教職実践専攻1年制コースを除く)の学部科目等履修生対象)】

教育実習は原則として科目等履修生2年目に行くことになります。

- ①前年度までに、小学校 1 種免許取得に必要な単位のうち、12 単位を修得済みであること（12 単位には、中学・高校免許からの流用単位は含みません）。
- ②当該年度に教員免許状取得に必要な科目を全て修得見込であること。

(2) 実習校の確保

原則は母校実習とし、各人が出身学校に内諾を得ている必要があります。下記の**事前登録期間の最終日(3月5日(水))までに内諾を得ていない場合、2025年度に「教育実習演習」を登録することはできません。**

※実習前年度に、大学を通しての実習校・教育委員会との派遣手続きが必要な場合、前年度に当学に学籍があり、教育実習ガイダンスの参加および事前登録（7～8月）を行った学生のみに対応します。

(3) 出願

1)教育実習事前登録（申請フォーム）

教育実習実施希望者は、2025年2月15日（土）10時～3月5日（水）16時の間に、教育学部webページ（https://www.waseda.jp/fedu/edu/applicants/admission/#anc_15）から、「全学の科目等履修生 教育実習申し込みはこちら」より教育実習内諾情報を入力してください。

なお、前年度(2024年度)に、MyWasedaで教育実習事前登録をしている場合も改めて登録を行ってください（今回の登録内容に更新を行います）。

2)科目登録

出願時、「履修計画書」にて「教育実習演習（中・高）（2週間）」、「教育実習演習（中・高）（3週間）」、「教育実習演習（小）」を申請してください。次表のとおり、教育実習の「期間」「時期」により登録する科目・クラスが異なります。なお、原則として、登録後の変更はできませんのでご注意ください。

【中学校・高等学校】

2 週間の教育実習の場合			
実習時期	登録する科目名・履修クラス	取得可能免許状	実習先
4 月～7 月の場合	教育実習演習（2 週間）の春学期開講クラス	高校のみ	中学または高校
8 月～1 月の場合	教育実習演習（2 週間）の夏秋期開講クラス		

3週間の教育実習の場合			
実習時期	登録する科目名・履修クラス	取得可能免許状	実習先
4月～7月の場合	教育実習演習（3週間）の春学期開講クラス	中学のみ または 中学校両方	中学または高校
8月～1月の場合	教育実習演習（3週間）の夏秋学期開講クラス		

※開講クラスについて 春学期開講クラスは、シラバス指定の曜日時限に、事前指導4回と事後指導3回の計7回の講義が行われ、夏秋学期開講クラスは、夏季休業期間中の指定期間に事前指導4回（集中授業）と秋学期のシラバス指定の曜日時限に事後指導3回の計7回の講義が行われます。

【小学校】

教育実習実施期間	科目名	取得可能免許状
3週間※	教育実習演習（小）	小学校のみ

※2011年度より、教育学研究科高度教職実践専攻2年制コース所属の学生に限り、中学校免許の教育実習の単位流用を前提として、2週間の小学校教育実習を認めています。ただし、実習校の了承を得ていることが前提となります。これらの条件を満たす場合のみ、「教育実習演習（小）（2週間）」を申請してください。

3) 小論文の提出

「教育実習演習」履修希望者については、出願時に小論文の提出が必要です。以下の教育学部webページから小論文の課題・所定用紙をダウンロードし、作成してください。**小論文は、前述の事前登録にてPDFで提出するとともに、原本を出願書類として提出してください。**

提出された小論文が一定の基準に満たない場合、当該科目の履修を認めないことがあります（「教育実習演習」のみ履修を希望している方は、科目等履修生としての入学が認められません）。また、小論文の記載内容によっては、再提出を求める可能性があります。対象の方には別途詳細を周知します。

㊦教育学部WEBページ

https://www.waseda.jp/fedu/edu/applicants/admission/#anc_15



(4) 実習申込み

実習先によっては、所定の手続きが必要です。

①「都内公立学校実習者」「早稲田大学附属・系属校実習者」

別途、提出書類が必要です。手続き内容詳細については、対象者の方に合格発表後にご連絡します。

②上記以外の「個人実習」等の方

科目等履修生入試合格後に教育実習関連書類を配布します。詳細は対象者の方に別途ご連絡します。

実習校によっては別途手続きが必要な場合がありますので、必ず事前に実習校に確認してください。また、所属事務所から配布される「教職課程履修の手引き（2025年版）」を熟読の上、教育実習の準備を行ってください。

(5) 教育実習ガイダンスの開催について（2026年度教育実習予定者向け）

下記のとおり教育実習ガイダンスを開催します。2025年度に科目等履修生として在籍し、2026年度にも科目等履修生として出願予定で、2026年度に教育実習を予定している方は必ず出席してください。事情によりやむを得ず出席できない場合は、教職支援センターお問合せフォーム

(<https://www.waseda.jp/fedu/tec/contact>) からご相談ください。

- ・教育実習ガイダンス（2026年度中学校・高等学校教育実習予定者）

日時：4月4日（金）15:00-16:45 会場：早稲田キャンパス16号館106教室（予定）

※事前予約は不要ですので、当日会場にお越しください。

- ・初等教育実習ガイダンス（2026年度小学校教育実習予定者）

日時：4月11日（金）11:00-12:00 会場：早稲田キャンパス16号館309教室（予定）

※事前予約が必要となりますので、参加を希望される場合は上記のお問合せフォームからご連絡ください。

以 上

介護等体験を行うには、以下の前提条件を満たすと同時に、所定の手続きを行う必要があります。

(1) 前提条件

履修前年度までに「教職概論（中・高）」および「特別支援教育（中・高）」の単位を修得済みであること（いずれも同等科目可）。「教育心理学（中・高）」の単位を修得済みであることが望ましい。

(2) 出願～手続き

1) 事前登録・麻疹（はしか）に関する証明書の提出

【登録期間】2025年2月15日（土）10時～2025年3月5日（水）16時

- ・介護等体験希望者は、上記の登録期間内に、以下の教育学部webページより事前登録を完了してください。
- ・この手続きは小学校免許、中学校免許共通です。

◎教育学部webページ

https://www.waseda.jp/fedu/edu/applicants/admission/#anc_15

> 「介護等体験事前登録」より登録してください。



※麻疹（はしか）に関する証明書の提出について（3月5日（水）16時まで）

介護等体験には、原則として麻疹の抗体値が十分にあることを事前に証明する必要があります。

事前登録を完了した方に、麻疹（はしか）に関する証明書の提出方法を案内しますので、案内にしたがって提出してください。

麻疹（はしか）に関する証明書

- ・ワクチン接種（2回分）を証明する書類（母子手帳やワクチン接種証明書）を提出していただきます。
- ・上述の書類を提出できない場合は、麻疹抗体検査を行っていただき、検査結果によっては、ワクチン接種（自己負担）の上、検査結果と併せてワクチン接種証明書を提出していただきます。
- ・ワクチン接種（2回分）を証明する書類がない方で、体質等が原因で抗体検査・ワクチン接種を受けることができない方は、その旨記載された医療機関発行の診断書を提出してください。
- ・やむを得ず提出期限に間に合わない場合は、提出時期を事前に連絡してください。

2) 科目登録

出願時に「履修計画書」にて「介護体験実習講義」を申請してください。

3) 体験費の納入

【納入期間】2025年4月24日（木）～2025年4月28日（月）

【納入方法】

入学後、聴講料納入案内をWasedaメールで通知します。メール内容を確認し、「コンビニエンスストア決済」「ペイジー決済」「クレジットカード決済」のいずれかで納入してください。

※入学手続書類の受取後、『WasedaID利用者控』に沿ってMywasedaの利用を速やかに開始し、Wasedaメールが確認できる状態にしておいてください。

<注意> ●納入された介護等体験費は、いかなる理由があっても返還できません。

【体験費詳細】

体験日数	7日間 (社会福祉施設＋特別支援学校)	5日間 (社会福祉施設のみ)	2日間 (特別支援学校のみ)
体験費	11,000円		—

(4) 介護等体験について・スケジュール（予定）

【体験日数】

7日間（社会福祉施設での体験5日間、および特別支援学校での体験2日間。土日のみの体験希望不可。）

- ・社会人の方が就業などを理由に、決定した体験日程の変更などを申し出ることは出来ません。
- ・過去に一部介護等体験を終了しており、手元に「介護等体験証明書」（2日もしくは5日分）がある場合は、7日間に對して不足する日数分の体験を事前登録時に申請してください。

【体験期間・体験先】

体験設定時期：原則、2025年5月下旬～2025年11月

体験先と期間：東京都内の社会福祉施設での体験5日間および特別支援学校での体験2日間（合計7日間）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、体験を中止し、代替措置が適用される可能性があります。
- ・体験時期が変更となる可能性があります。
- ・社会福祉施設とは児童養護施設、老人デイサービスセンター、特別養護老人ホームなどです。
- ・体験期間が2日間のみの場合は特別支援学校での体験となります。
- ・社会福祉施設の体験先は現住所を参考に、東京都社会福祉協議会が決定します。特別支援学校の体験先は事前登録時の希望を参考に調整しますが、受け入れ先の状況等により希望に添えない場合があります。

時期	手続き・内容
4月初旬	☐ 介護等体験事前ガイダンス ※開催の詳細は決まり次第 Waseda メールで通知します。
	☐ 学生定期健康診断の受診
	☐ 体験不可能期間希望申請アンケート （体験が出来ない週を申請する手続き）
4月～5月	☐ 「介護等体験実習講義」（事前指導：4回）
6月下旬	☐ 体験先・体験期間決定の案内 「介護等体験施設決定通知書（体験日程詳細）」および 「受け入れ連絡票（社会福祉施設の体験詳細）」の配付
体験先決定後 ～7月上旬まで	☐ 「介護等体験希望学生個人票」の提出
	☐ 「健康診断書」の提出（対象学生のみ）
7月上旬～順次	☐ 「細菌検査結果書」の提出（対象学生のみ）
随時	☐ 体験先施設での事前オリエンテーション（対象学生のみ）
	☐ 体験先施設への事前連絡（対象学生のみ）
	☐ 介護等体験の実施
	☐ 講義欠席特別扱願の提出
秋学期以降	☐ 「介護等体験証明書（コピー）」の提出
	☐ 「社会福祉施設における介護等体験 自己評価票」提出
12月～1月	☐ 「介護体験実習講義」（事後指導：4回）
3月	☐ 「介護体験実習講義」成績発表

※教職支援センターからの連絡はMyWasedaの「個人情報照会・変更」に登録されている連絡先へ行います。

このため、連絡先は常に最新の状態でください。

※上記は2025年2月現在の予定です。連絡事項はMyWaseda（Wasedaメール、Waseda Moodleを含む）を通してお知らせします。

以 上

<履修条件>

英語科教育法 1～4 を履修する場合、以下履修条件のいずれかを満たしている必要があります。

科目等履修生制度の出願までに TOEIC にて条件を満たすか、英検や TOEFL ITP で下記の<設定理由>にある目標値（英検準 1 級以上、TOEFL ITP 550 点以上）を取得してください。

WeTEC の受験を希望する場合は、科目等履修生制度の出願者用に受験機会を設けておりますので、下記の<WeTEC 受験案内>に従い受験してください。本学の卒業生で正規学生から引き続き科目等履修生になる場合には、在学中の WeTEC スコアの利用が可能です。

- ・ TOEIC (Listening & Reading Test) 555 点以上 (TOEIC IP テストでも可)
- ・ WeTEC 600 点以上

※WeTEC とは Web-based Test for English Communication の略称で、当学の学生を対象としたインターネットを利用した英語コミュニケーション能力判定テストです。

<設定理由>

文部科学省は「英語が使える日本人」の育成のための戦略構想で、英語教員が備えておくべき英語力の目標値として、英検準 1 級、TOEFL ITP 550 点、TOEIC730 点程度が望ましいとしています。

<注意事項>

- ・ 本学国際教養学部卒業生ならびに本学文化構想学部国際日本文化論プログラムの卒業生は、前提条件を満たしているとみなします（スコアの提出は不要）。
- ・ 本学人間科学部卒業生で在学中に英語授業が免除された方（TOEFL (iBT) 83 以上/ TOEIC Listening & Reading Test + Speaking & Writing Tests $\times 2.5 = 1700$ 以上）*2018 年度以前入学者に関しては、TOEFL (iBT) 80 以上/ TOEIC Listening & Reading Test が 730 以上）は前提条件を満たしているため、当該試験のスコアコピーを初回授業以降に担当教員へ提出して下さい。
- ・ 本学教育学部卒業生、人間科学部卒業生（在学中に英語授業が免除された方を除く）、文化構想学部卒業生（国際日本文化論プログラムの方を除く）で、何等かの理由により在学中に WeTEC や TOEIC の点数を取得していないが、英検や TOEFL ITP で上記の<設定理由>にある目標値（英検準 1 級以上、TOEFL ITP 550 点以上）を取得している場合は、前提条件を満たしているとみなします。その場合、当該試験のスコアコピーを初回授業以降に担当教員へ提出する必要があります。
- ・ 履修条件を満たしていることが確認できない場合は単位修得ができません。不合格評価になるため、十分に注意してください。

<スコアの提出・成績評価について>

初回授業以降に担当教員がスコアの提出を求めますので、WeTEC については MyWaseda からプリントアウトしたものを、TOEIC、英検、TOEFL ITP については証明書のスコアをコピーしたものを提出してください。

授業期間内にスコアを提出しない場合、また、スコアが条件を満たしていない場合、不合格評価となります。

<WeTEC 受験案内>

科目等履修生制度の出願者用に、以下のとおり、WeTEC の受験機会を設けます。

【申込・受験方法】

次頁「2025 年度英語科教育法の履修を希望される皆さんへ」を参照してください。

申込期間	受験期間	備考
2025 年 2 月 20 日 (木) ～ 3 月 3 日 (月)	2025 年 2 月 21 日 (金) ～ 3 月 4 日 (火)	春学期履修用
2025 年 9 月 4 日 (木) ～ 10 月 6 日 (月)	2025 年 9 月 5 日 (金) ～ 10 月 7 日 (火)	秋学期履修用 ※秋学期履修予定者は春学期履修者用を受験しても良い。

試験時間の平均は約 60 分です。コンピュータを利用しているため、その場で採点し、テスト終了後すぐにスコアが表示されます。

以 上

2025 年度 英語科教育法の履修を希望される皆さんへ

(英語科教育法的前提条件について)

2010 年度以降に入学した学生が英語科教育法 1、英語科教育法 2、英語科教育法 3、英語科教育法 4を履修する場合、以下の条件のうちいずれかを満たしていることが必要となります。

WeTEC : 600 点以上

TOEIC : 555 点以上

※国際教養学部で、英語 I・II が免除された学生は、条件を満たしていると特別にみなします。

※「科目等履修生」については、2011 年度の科目等履修生より適用となります。

上記スコアをお持ちでない方は、下記の手順に従って WeTEC の受験申込を行ってください。

1) 受験申込

以下の手順でお申し込みください。

①教職課程 WeTEC の受験料 (2,950 円) を以下の宛先にお振込みください。

※振込手数料はご負担願います。

<振込先>

三菱 UFJ 銀行 江戸川橋支店

普通 1212808

カ) ワセダダイガクアカデミックソリューション

振込人名義: ご氏名 (カタカナ)

②振込完了後、以下の情報を【te-help@list.waseda.jp】までご連絡ください。

- ・氏名
- ・振込みが完了した旨

①～②の確認が取れ次第、弊社から受験 ID と PW をご案内いたします。

※受験申込後の受験料返金には、一切応じられません。ご注意ください。

なお、今回の受験期間・申込期間は以下の通りとなります。

受験期間	申込期間
① 2025 年 2 月 21 日 (金)～3 月 4 日 (火)	2025 年 2 月 20 日 (木)～3 月 3 日 (月)
② 2025 年 9 月 5 日 (金)～10 月 7 日 (火)	2025 年 9 月 4 日 (木)～10 月 6 日 (月)

【科目等履修生用】

※申込受付時間は、平日 9 : 30~17 : 00 となります。

※①の申込期間で受験申込をした方は、②の受験期間で受験することは出来ません。ほかの場合も同様です。

2) WeTEC 受験

受験設定が完了しましたら、メールでご連絡いたします。本ページの下部にある受験ガイド（別紙）に記載されている URL にアクセスし、ID/パスワードを入力し、受験を開始してください。受験前には必ず WeTEC 受験ガイド（別紙）を確認してください。

※原則として再受験は一切認められません（但し技術的トラブルが生じた場合は、別途協議いたします）。技術的なトラブルについてのお問い合わせは、下記（株）早稲田大学アカデミックソリューションまでお願いいたします。

3) 受験終了後

受験終了後にスクリーン上に受験結果が表示されます。表示された受験結果を印刷の上、初回授業時に担当教員にご提出ください。なお受験結果画面は、一度閉じると、二度と開くことができません。ご注意ください。

●英語科教育法、受験結果の取り扱いについてのお問い合わせ

お問い合わせ先：教育・総合科学学術院事務所

電話番号：03-3232-3599

問い合わせ時間：月～金 9:00-17:00

●WeTEC の受験方法、受験環境、他技術的トラブルに関するお問い合わせ

お問い合わせ先：（株）早稲田大学アカデミックソリューション

問い合わせ時間：月～金 9:00-17:00

問い合わせフォーム

<https://otoiawase.jp/do/public/form/tutorialenglish/1>

科目等履修生 教育学部 教職課程英語科教育法 WeTEC

●基本情報

受験サイト	https://wetec.w-as.jp/wetec/english_edu.html
受験期間	2025 年 2 月 21 日～3 月 4 日 2025 年 9 月 5 日～10 月 7 日
※受験者 ID	お申込みメール確認後に発行する受験者 ID を半角で入力してください。
※パスワード	お申込みメール確認後に発行するパスワードを入力してください。

※科目等履修生出願者の場合は、お申込みメール確認後、受験者 ID・パスワードを発行いたします。

WeTEC とは Web-based Test for English Communication の略称で、インターネットを利用した英語コミュニケーション能力判定テストです。個人の能力に合わせてテスト問題を変化させていく適応型のテストシステムですので、従来のペーパーテストに比べて短時間で正確な測定が可能です。次のような特徴があります。

①約 60 分で高い測定精度

試験時間の平均は約 60 分です。また、問題をランダムに出題するタイプのコンピュータテストとは違い、TOEIC(R)テストや英検などの資格試験と同等の正確性の高いレベル測定を行います。

②テスト終了後にすぐわかる結果

コンピュータを利用しているため、その場で採点し、テスト終了後すぐにスコアが表示されます。

③ウェブ上で受験できる

指定された受験期間内であれば、自分の好きな時に受験をし、実力チェックをすることが可能です。(受験は各自 1 回のみ可能です。再受験はできません。)

●受験に必要な環境

①パソコン ②ヘッドホンまたはスピーカー

パソコンが下記推奨環境を満たしているかを確認してください。リスニング問題がありますので、音声が正しく聞けるか確認してください。静かに集中できる場所で受験することをお勧めします。

<パソコン推奨環境>

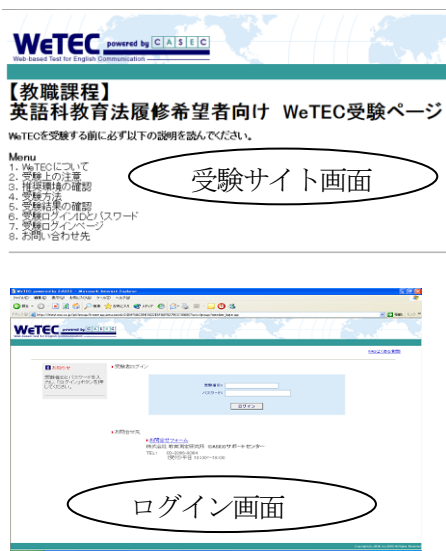
OS	ブラウザ
Windows: 10 以降	Microsoft Edge 20 以降、Google Chrome
Macintosh: OS 10.10 以降	Safari 8.0 以降※、Google Chrome

※最新の推奨環境は、WeTEC 受験サイトをご確認ください。

※Safari 11 以降で受験する場合、事前に Safari の環境設定にて音声出力を設定する必要があります。

●受験の進め方

1. ログイン方法



①受験サイトへアクセス

上記の受験サイト URL にアクセスしてください。

②受験環境チェックを実施

受験サイトから、受験環境チェックを行い、すべての結果が「OK」になることを確認します。

(チェック結果が1つでも「NG」になっている場合は、推奨環境を満たすパソコンから受験してください。)

③WeTEC ガイドツアーを使って、受験方法を事前に確認

上記受験サイトから、WeTEC ガイドツアーにアクセスしてください。

WeTEC ガイドツアーでは、実際の受験と同じ形式で、受験を体験できます。

WeTEC の受験方法に十分慣れてから、本番の受験に臨んで下さい。

④ログインする

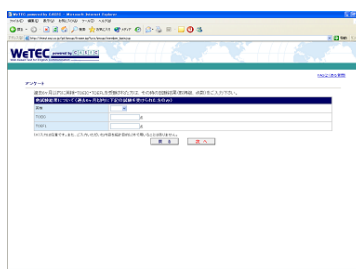
教育学部ログインページへのリンクを選択。

左図のログインページに進み、受講者 ID、パスワードを入力してください。

2. 受験の前に



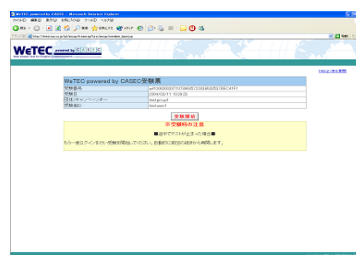
⑤利用規約に同意する
利用規約に同意したら、「受験開始」ボタンを押してください。



⑦アンケート
過去6ヶ月以内に英検・TOEIC・TOEFL を受験された方は、試験結果(取得級・点数)をご記入ください。受験していない方は、入力不要です。終わりましたら「次へ」ボタンをクリックします。



⑥音声をテストする
実際のテストと同じ音量で例文が読まれます。音量を調節してください。調節方法は、画面の指示に従ってください。



⑧受験票内容の確認
画面上にご自身の受験情報が表示されます。間違いがないか確認して「受験開始」を押してください。

3. WeTEC 受験



⑨WeTEC を受験する
WeTECは前ページにある4つのセクションから構成されています。受験にかかる所要時間は約60分です。

もし画面がフリーズした/中断された時

あわてずにウィンドウを閉じてください。もう一度①番に戻り、同じようにログインすれば、中断された場所から再開することができます。

4. 受験結果表示

スコア イメージ

受験日	Sec. 1 Score (250)	Sec. 2 Score (250)	Sec. 3 Score (250)	Sec. 4 Score (250)	Total Score (1000)	TOEIC Score (1000)	TOEFL Score (1000)	受験 日
2023/04/01	234	195	205	191	825	880	540	準1級

※スコアは目安です。実際のスコアは受験結果画面に表示されます。

⑩スコアを確認

スコアが表示されます。各セクション250点満点で、トータル1000点満点です。スコアに応じてアドバイスが表示されますので、今後の学習に役立ててください。

受験終了後にスクリーン上に受験結果が表示されます。表示された受験結果を印刷の上、初回授業時に担当教員にご提出ください。なお受験結果画面は、一度閉じると、二度と開くことができません。ご注意ください。

確認後は、右上にある「ログアウト」ボタンから、ログアウトを行ってください。強制終了をしてしまうと、試験を正常に終了できなくなりますので、ご注意ください。

●WeTEC テストの構成

Section 1	語彙の知識	
問題形式	空所補充	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションで実際によく使われる語彙の知識を測定します。
解答方式	4択択一	
問題数	25 問	
配点	250 点	
解答時間	60 秒/1 問	

Section 3	リスニングでの大意把握力	
問題形式	リスニング	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションにおける会話やニュースなどを聞き、その内容の大意を理解する能力を測定します。
解答方式	4択択一	
問題数	25 問	
配点	250 点	
解答時間	60 秒/1 問	

Section 2	表現の知識及びその用法	
問題形式	空所補充	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションで実際によく使われる会話表現の知識およびその用法を測定します。
解答方式	4択択一	
問題数	25 問	
配点	250 点	
解答時間	90 秒/1 問	

Section 4	具体情報の聞き取り能力	
問題形式	リスニング	日常生活・学校生活・ビジネス現場などのシチュエーションにおける会話などから、内容理解のキーポイントとなる情報を聞き取る能力を測定します。
解答方式	ディクテーション	
問題数	20 問	
配点	250 点	
解答時間	120 秒/1 問	

お問合せ先

(株)早稲田大学アカデミックソリューション 語学教育部 問い合わせ時間：月～金 9:00-17:00
専用問い合わせフォーム <https://otoiawase.jp/do/public/form/tutorialenglish/1>

【重要】教育職員免許法および同法施行規則改正に伴う注意事項について

「2025年度4月・9月入学 教育学部科目等履修生（教職課程・博物館学芸員課程）募集要項」（本紙）の p. 5 ～7をご確認ください。

教育職員免許状取得要件（新課程）

1. 取得要件

教育職員免許状を取得する場合、「教育職員免許法」と「教育職員免許法施行規則」による基礎資格を満たし、所定の単位を修得する必要があります。なお、以下は法改正後の新課程です。施行規則附則に基づき、旧課程の適用となる場合は、出願先学部事務所へご相談ください。

1-1. 基礎資格

学士の資格を有すること。（小学校一種・中学校一種・高等学校一種共通）

1-2. 修得単位

法令区分／免許状の種類	小学校 一種	中学校 一種	高等学校 一種
教科及び教職に関する科目	合計 59単位	合計 59単位	合計 59単位
教科及び教科の指導法に関する科目 ※（1）	小計 30単位	小計 28単位	小計 24単位
教科に関する専門的事項 ※（1）			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） ※（1）		8	4
教育の基礎的理解に関する科目 ※（2）	10	10	10
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 ※（2）	10	10	8
教育実践に関する科目 ※（2）	7	7	5
大学が独自に設定する科目 ※（3）	2	4	12
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	合計 8単位	合計 8単位	合計 8単位
日本国憲法	2	2	2
体育（実技）	2	2	2
外国語コミュニケーション	2	2	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	2	2
最低修得単位数の合計	67	67	67

※（1）「教科に関する専門的事項」、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の最低修得単位数

「教科に関する専門的事項」については、法令上の最低修得単位数は定められていません。ただし、「教科及び教科の指導法に関する科目」としては、「教科に関する専門的事項」と「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」との合算で「小計」に記載の単位数を修得する必要があります。また、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」については、中学校免許取得者は8単位以上、高等学校取得者は4単位以上修得することが定められています。

※（2）「教育の基礎的理解に関する科目」等

①「教育の基礎的理解に関する科目」、②「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および③「教育実践に関する科目」の総称として、「教育の基礎的理解に関する科目」等とします。

※（3）大学が独自に設定する科目（一種免許状）

「教育の基礎的理解に関する科目」等、「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低修得単位数を超えて単位を修得した場合は、「大学が独自に設定する科目」の単位として計算されます。上表に記載の単位数は、「教育の基礎的理解に関する科目」等、「教科及び教科の指導法に関する科目」および「大学が独自に設定する科目」の合計最低修得単位数である59単位から、「教育の基礎的理解に関する科目」等と「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低修得単位数を差し引いた単位数であり、「大学が独自に設定する科目」の科目区分に設置されている科目を、記載されている単位数以上履修しなければならないという意味ではありません。

中学校・高校免許状取得要件（新課程）

（１）教科及び教科の指導法に関する科目

「教科及び教科の指導法に関する科目」については、「教科に関する専門的事項」および「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の合算で、中学校免許取得者は２８単位以上、高等学校免許取得者は２４単位以上を修得する必要があります。必修科目のみの履修では「教科及び教科の指導法に関する科目」の合計単位数要件を満たさない場合がありますので、ご注意ください。

（１－１）教科に関する専門的事項

下表のとおり、取得する免許教科により、修得が必要な科目が異なります。

<国語(中学１種・高校１種)>

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	日本語学	４	全科目必修
	国語表現論	４	
国文学（国文学史を含む。）	日本文学史Ⅰ（古代）	２	
	日本文学史Ⅱ（中世）	２	
	日本文学史Ⅲ（近世）	２	
	日本文学史Ⅳ（近代）	２	
漢文学	中国文学基礎講読	４	
	中国文学基礎演習Ⅰ	２	
書道（書写を中心とする。）	書道（書写）	４	中学１種免許状の取得を希望する場合は必修。 高校１種免許状の単位としては算入されません。
最低修得単位数		２６（中学） ２２（高校）	

<社会(中学１種)>

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
日本史・外国史	日本史Ⅰ	２	全科目必修
	日本史Ⅱ	２	
	外国史Ⅰ	２	
	外国史Ⅱ	２	
地理学（地誌を含む。）	地理Ⅰ	２	全科目必修
	地理Ⅱ	２	
	地誌Ⅰ	２	
「法律学、政治学」	法律学	２	１科目必修
	政治学Ⅰ	２	
	政治学Ⅱ	２	
「社会学、経済学」	社会学（教職）	２	１科目必修
	経済学Ⅰ	２	
	経済学Ⅱ	２	
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学研究	４	いずれか １科目群必修
	倫理学概論	４	
	宗教研究Ⅰ	２	
	宗教研究Ⅱ	２	
最低修得単位数		２２	

<地歴(高校1種)>

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
日本史	日本史Ⅰ	2	全科目必修
	日本史Ⅱ	2	
外国史	外国史Ⅰ	2	
	外国史Ⅱ	2	
	外国史Ⅲ	2	
人文地理学・自然地理学	地理Ⅰ	2	
	地理Ⅱ	2	
	地理Ⅲ	2	
地誌	地誌Ⅰ	2	
	地誌Ⅱ	2	
最低修得単位数		20	

<公民(高校1種)>

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学	2	いずれか 1科目群必修
	政治学Ⅰ	2	
	政治学Ⅱ	2	
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学（教職）	2	「社会学（教職）」または 「経済学Ⅰ」および「経済学Ⅱ」を履修
	経済学Ⅰ	2	
	経済学Ⅱ	2	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学研究	4	いずれか 1科目群必修
	倫理学概論	4	
	宗教研究Ⅰ	2	
	宗教研究Ⅱ	2	
最低修得単位数		20	※（１）参照のこと

<数学(中学1種・高校1種)>

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
代数学	線形代数Ⅰ	4	いずれか 1科目群必修
	代数Ⅰ－Ⅰ	2	
	代数Ⅰ－Ⅱ	2	
幾何学	幾何Ⅰ	2	いずれか 1科目群必修
	幾何Ⅱ	2	
	幾何Ⅲ	2	
	幾何Ⅳ	2	
解析学	微積分Ⅰ	4	いずれか 1科目群必修
	解析学Ⅰ－Ⅰ	2	
	解析学Ⅰ－Ⅱ	2	
	複素解析Ⅰ－Ⅰ	2	
「確率論、統計学」	統計入門	2	いずれか 1科目群必修
	統計数学	2	
	確率論Ⅰ	2	
	確率論Ⅱ	2	
コンピュータ	情報数学Ⅰ	2	いずれか 1科目群必修
	情報数学Ⅱ	2	
	情報数学Ⅲ	2	
	情報数学Ⅳ	2	
最低修得単位数		20	

＜情報(高校1種)＞

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	情報社会・情報倫理	2	全科目必修
	情報技術の応用と職業	2	
コンピュータ及び情報処理	情報数学 5	2	
	情報数学 6	2	
情報システム	情報システム 1	2	
	情報システム 2	2	
情報通信ネットワーク	ネットワーク技術 1	2	
	ネットワーク技術 2	2	
マルチメディア表現・マルチメディア技術	マルチメディア基礎と応用 I	2	
	マルチメディア基礎と応用 II	2	
最低修得単位数		20	

＜理科(中学1種)＞ ※教育学部出身者は出身専修にて受入、他大学卒業者は生物学専修にて受入

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
物理学	物理学 I - 1	2	全科目必修
	物理学 I - 2	2	
化学	化学 I	4	
生物学	生物学通論 I	2	
	生物学通論 II	2	
地学	地学通論 I	2	
	地学通論 II	2	
「物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験」	物理学実験 I	2	
	物理学実験 II	2	
	化学実験 I	2	
	化学実験 II	2	
	生物学通論実験 I	1	
	生物学通論実験 II	1	
	地学通論実験 I	1	
	地学通論実験 II	1	
最低修得単位数		28	

＜理科(高校1種)＞ ※教育学部出身者は出身専修にて受入、他大学卒業者は生物学専修にて受入

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
物理学	物理学Ⅰ-1	2	全科目必修
	物理学Ⅰ-2	2	
化学	化学Ⅰ	4	
生物学	生物学通論Ⅰ	2	
	生物学通論Ⅱ	2	
地学	地学通論Ⅰ	2	
	地学通論Ⅱ	2	
「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」	物理学実験Ⅰ } セット履修	2	いずれか 1科目群必修
	物理学実験Ⅱ } セット履修	2	
	化学実験Ⅰ } セット履修	2	
	化学実験Ⅱ } セット履修	2	
	生物学通論実験Ⅰ } セット履修	1	
	生物学通論実験Ⅱ } セット履修	1	
	地学通論実験Ⅰ } セット履修	1	
	地学通論実験Ⅱ } セット履修	1	
最低修得単位数		20	

＜英語(中学1種・高校1種)＞

教育職員免許法施行規則上の科目名		教育学部設置科目	単位数	履修方法
英語学※	英語音声学Ⅰ		2	全科目必修
	言語学入門		2	
	応用言語学入門		2	
英語文学	英文学史Ⅰ		2	
	英文学史Ⅱ		2	
	米文学史Ⅰ		2	
	米文学史Ⅱ		2	
英語コミュニケーション	A群	Academic Writing and Discussion in English α (Essentials for Beginners)	2	A～B群から1科目群 選択必修
		Academic Writing and Discussion in English β (Academic skills for Intermediate learners)	2	
	B群	Communicative EnglishⅠ	2	
		Communicative EnglishⅡ	2	
	異文化理解	アメリカ文化史		
British Cultural History		2		
Intercultural Communication		2		
最低修得単位数			22	

※2018年度以前入学者は「英語学」の履修科目が追加となる場合がありますので、出願前にご相談ください。

＜ドイツ語(中学1種・高校1種)＞

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
ドイツ語学	ドイツ語研究	2	全科目必修
	ドイツ語演習Ⅲ (言語を知る)	2	
ドイツ文学	ドイツ語圏の文学	2	
	ドイツ語演習Ⅰ 2 (文学テキストを読む)	2	

ドイツ語コミュニケーション	ツールとしてのドイツ語Ⅰ	2	
	ツールとしてのドイツ語Ⅱ	2	
	ツールとしてのドイツ語Ⅲ	2	
	ツールとしてのドイツ語Ⅳ	2	
異文化理解	ドイツ語圏の社会と文化	2	
	ドイツ語演習Ⅰ 1（文化の諸相）	2	
	ドイツ語演習Ⅱ 1（文化の諸相）	2	
	ドイツ語演習Ⅱ 2（文化の諸相）	2	
	ドイツ語演習Ⅳ（文化の諸相）	2	
最低修得単位数		26	

<フランス語(中学1種・高校1種)>

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
フランス語学	フランス語研究	2	全科目必修
	フランス語演習Ⅳ（言語を知る）	2	
フランス文学	フランス語圏の文学	2	
	フランス語演習Ⅰ 2（文学テキストを読む）	2	
	フランス語演習Ⅱ 2（文学テキストを読む）	2	
フランス語コミュニケーション	ツールとしてのフランス語Ⅰ	2	
	ツールとしてのフランス語Ⅱ	2	
	ツールとしてのフランス語Ⅲ	2	
	ツールとしてのフランス語Ⅳ	2	
異文化理解	フランス語圏の社会と文化	2	
	フランス語演習Ⅰ 1（文化の諸相）	2	
	フランス語演習Ⅱ 1（文化の諸相）	2	
	フランス語演習Ⅲ（文化の諸相）	2	
最低修得単位数		26	

<中国語(中学1種・高校1種)>

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
中国語学	中国語研究	2	全科目必修
	中国語演習Ⅰ 1（言語を知る）	2	
	中国語演習Ⅱ 1（言語を知る）	2	
中国文学	中国語圏の文学	2	
	中国語演習Ⅰ 2（文学テキストを読む）	2	
	中国語演習Ⅱ 2（文学テキストを読む）	2	
中国語コミュニケーション	ツールとしての中国語Ⅰ	2	
	ツールとしての中国語Ⅱ	2	
	ツールとしての中国語Ⅲ	2	
	ツールとしての中国語Ⅳ	2	
異文化理解	中国語圏の社会と文化	2	
	中国語演習Ⅲ（文化の諸相）	2	
	中国語演習Ⅳ（文化の諸相）	2	
最低修得単位数		26	

＜スペイン語(中学1種・高校1種)＞

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
スペイン語学	スペイン語研究	2	全科目必修
	スペイン語演習Ⅰ 2（言語を知る）	2	
	スペイン語演習Ⅱ 2（言語を知る）	2	
スペイン文学	スペイン語圏の文学	2	
	スペイン語演習Ⅲ（文学テキストを読む）	2	
	スペイン語演習Ⅳ（文学テキストを読む）	2	
スペイン語コミュニケーション	ツールとしてのスペイン語Ⅰ	2	
	ツールとしてのスペイン語Ⅱ	2	
	ツールとしてのスペイン語Ⅲ	2	
	ツールとしてのスペイン語Ⅳ	2	
異文化理解	スペイン語圏の社会と文化	2	
	スペイン語演習Ⅰ 1（文化の諸相）	2	
	スペイン語演習Ⅱ 1（文化の諸相）	2	
最低修得単位数		26	

（１－２）各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

教育職員免許法施行規則上の科目名	設置科目	単位	履修方法
各教科の指導法	教科教育法 1	2	必修
	教科教育法 2	2	
	教科教育法 3	2	中学のみ必修
	教科教育法 4	2	
最低修得単位数		中学 8 ・ 高校 4	

- ・ 取得を希望する教科の指導法を履修してください。中学校免許取得者は 1～4 の 8 単位、高等学校免許取得者は 1・2 の 4 単位が必修です。
- ・ 高等学校免許取得者が、同一教科の教科教育法 3・4 を取得した場合、教科及び教科の指導法に関する科目の総単位に積算されます。
- ・ 旧課程適用者が卒業までに「社会科教育法 3」および「社会科教育法 4」の単位を修得済の場合は、高等学校地理歴史および公民の単位として使用することができますが、新課程適用者は、「社会科教育法 3」および「社会科教育法 4」の単位を高等学校地理歴史および公民の免許には使用できません。

（２）「教育の基礎的理解に関する科目」等（必修）

教育職員免許法施行規則に定める科目		設置科目※ 1	単位	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎総論 1（中・高）	2	必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論（中・高）	2	必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度総論（中・高） ※ 2	2	必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学（中・高）	2	必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育（中・高） ※ 3	1	必修
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程編成論（中・高）	1	必修
道徳、総合的な学習の時間等の	道徳の理論および指導法	道徳教育論（中・高）	2	中学必修
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習・探究論（中・高） ※ 3	1	必修

指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別活動の指導法	特別活動論（中・高）	1	必修
	教育の方法及び技術	教育方法・技術論（中・高） ※ 4	2	必修
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育における ICT 活用（中・高） ※ 5	1	必修
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論（中・高）	2	必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	生徒理解と教育相談（中・高）	2	必修
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習演習（中・高）（3週間）	5	中学必修
		教育実習演習（中・高）（2週間）	3	高校必修
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	必修
最低修得単位数		中学 2 8 ・ 高校 2 4		

※ 1）旧課程で修得した科目については、教育職員免許法施行規則附則に基づき、新課程の科目へ一部読み替えることができます。詳細は出願先学部へお問い合わせください。教育の基礎的理解に関する科目等において、旧課程の同一科目を修得している場合、新課程への読み替えが可能なため、原則として再度の履修は不要です。

※ 2）旧「教育基礎総論 2（中・高）」を修得済みの場合、再度の履修は不要です。

※ 3）新設科目のため、新課程適用者は履修が必須となります。

※ 4）旧「教育方法研究（中・高）」を修得済みの場合、再度の履修は不要です。

※ 5）経過措置として、科目を設置する大学や履修年度に関わらず、「教育方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）」の要件を満たす授業科目を履修していれば、「教育におけるICT活用（中・高）」の履修は不要です。当学を卒業した方が在学中に下表の科目の単位を修得済みの場合は、「教育におけるICT活用（中・高）」は履修不要となります。

科目名	備考
教育方法・技術論（中・高）	2019 年度～
教育方法研究（中・高）	～2018 年度
教育方法学	教育学部教育学科教育学専攻教育学専修設置科目

（３）「教育の基礎的理解に関する科目」等（選択）

以下の科目は、「教育の基礎的理解に関する科目」等の選択科目です。修得した単位は「大学が独自に設定する科目」として取り扱われます。

教育職員免許法施行規則に定める科目			設置科目	単位数	履修方法
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） 教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） 教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク） 教職研究Ⅴ（社会変動と教育）※ 教職研究Ⅸ（教育経営）	教職特講各１単位 ・ その他各２単位	選択
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	授業技術演習		

※の科目は隔年開講

（４）大学が独自に設定する科目（中学校１種・高等学校１種）

以下の科目は、「大学が独自に設定する科目」です。また、「教科又は教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」等の最低修得単位数を超えて修得した単位もこの区分に計上されます。

教育職員免許法施行規則に定める科目	設置科目	単位	履修方法
大学が独自に設定する科目	介護体験実習講義	2	小・中学校のみ必須
	人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）	2	選択
	学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	4	
	特別支援教育インターンシップ	4	
	インクルーシブ教育インターンシップ	4	
	教職研究Ⅵ（生涯教育）	2	
	教職研究Ⅷ（総合学習の研究）	2	
	教職特講Ⅲ（部活動論）	1	
	国語科授業技術演習※	2	

※教科「国語」のみ使用可。

（５）教科及び教職に関する科目の総単位数について

「教育職員免許状取得要件」に記載の通り、中学校・高等学校一種免許状を取得するためには、「教科及び教職に関する科目」の合計でそれぞれ「５９単位以上」を取得する必要があります。教育の基礎的理解に関する科目等、教科及び教科の指導法に関する科目の必修単位だけでは５９単位に満たない場合があるため、ご注意ください。

（６）教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

＜日本国憲法＞

未修得の場合は当学部設置科目「憲法」（２単位）を修得してください。

＜体育（実技）＞

未修得の場合は当学グローバルエデュケーションセンター設置の「スポーツ実習」を合計で **2 単位** 修得してください。

＜外国語コミュニケーション＞

学部在学中に履修した外国語科目のうちの指定科目 2 単位で充当されます。科目等履修生としての履修は認められません。

＜数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作＞

未修得の場合は当学グローバルエデュケーションセンター設置の指定科目（２単位）を修得してください。

- ※ 「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」には 1 単位科目もありますので、最低修得単位数である **2 単位** の要件を満たすために、合計 2 単位以上を修得してください。
- ※ 2022 年度より、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」 2 単位が教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目として利用可能となりました（2022 年度以降に開講となる対象科目を履修した場合に修得単位が有効となります）。該当科目はグローバルエデュケーションセンター設置の「統計リテラシー α」「統計リテラシー β」「データ科学入門 α」「データ科学入門 β」「Statistics Literacy α」「Statistics Literacy β」「Introduction to Data Science α」「Introduction to Data Science β」（各 1 単位）となります。
- ※ 「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」から 2 単位、または「情報機器の操作」の科目から 2 単位を修得する必要があり、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」 1 単位と「情報機器の操作」 1 単位の組み合わせでは要件を満たすことができません。

小学校一種免許状取得要件（新課程）

（１）教科及び教科の指導法に関する科目

「教科及び教科の指導法に関する科目」については、「教科に関する専門的事項」および「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の合算で３０単位以上を修得する必要があります。

（１－１）教科に関する専門的事項

教育職員免許法施行規則上の科目名	教育学部設置科目	単位数	履修方法
国語（書写を含む。）	初等教科専門国語（書写を含む）	2	5科目10単位を選択必修
社会	初等教科専門社会	2	
算数	初等教科専門算数	2	
理科	初等教科専門理科	2	
生活	初等教科専門生活	2	
音楽	初等教科専門音楽	2	
図画工作	初等教科専門図画工作	2	
家庭	初等教科専門家庭	2	
体育	初等教科専門体育	2	
外国語	初等教科専門英語	2	
最低修得単位数		10	

※文科系受験者は「初等教科専門算数」、「初等教科専門理科」を含み、理科系受験者は「初等教科専門国語（書写を含む）」、「初等教科専門社会」を含んで選択することが望ましい。

（１－２）各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

教育職員免許法施行規則上の科目名		教育学部設置科目	単位数	履修方法
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	2	全科目必修
	社会	初等社会科教育法	2	
	算数	初等算数科教育法	2	
	理科	初等理科教育法	2	
	生活	初等生活科教育法	2	
	音楽	初等音楽科教育法	2	
	図画工作	初等図画工作科教育法	2	
	家庭	初等家庭科教育法	2	
	体育	初等体育科教育法	2	
	外国語	初等英語科教育法	2	
最低修得単位数			20	

（２）「教育の基礎的理解に関する科目」等（必修）：初等教育学専攻卒業生用

教育職員免許法施行規則に定める科目		設置科目※１	単位	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	初等教育学概論Ⅰ	２	必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職原論	２	必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育の制度と経営（小） ※２	２	必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学原論	２	必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育原論 ※３	２	必修
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程編成原論	１	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論および指導法	道徳教育原論	２	中学必修
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習研究原論 ※３	２	必修
	特別活動の指導法	特別活動原論	２	必修
	教育の方法及び技術	教育方法原論	２	必修
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育における ICT 活用（小）※４	１	必修
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導原論	２	必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談原論	２	必修
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習演習（小）	５	必修
	教職実践演習	教職実践演習（小）	２	必修
最低修得単位数		計 31		

※１ 旧課程で修得した科目については、教育職員免許法施行規則附則に基づき、新課程の科目へ一部読み替えることができます。詳細は出願先学部へお問い合わせください。教育の基礎的理解に関する科目等において、旧課程の同一科目を修得している場合、新課程への読み替えが可能なため、原則として再度の履修は不要です。

※２ 旧「初等教育学概論Ⅱ」を修得済みの場合、再度の履修は不要です。

※３ 新設科目のため、新課程適用者は履修が必須となります。

※４ 経過措置として、科目を設置する大学や履修年度に関わらず、「教育方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）」の要件を満たす授業科目を履修していれば、「教育におけるICT活用（小）」の履修は不要です。当学を卒業した方が在学中に「教育方法原論」の単位を修得済みの場合は、「教育におけるICT活用（小）」は履修不要となります。

(2) 「教育の基礎的理解に関する科目」等(必修):教育学研究科生用

教育職員免許法施行規則に定める科目		設置科目 ※1	単位	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	既得済み単位を流用※2	2	履修不要
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	既得済み単位を流用※2	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	既得済み単位を流用※2	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	既得済み単位を流用※2	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育原論 ※3	2	必修
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程編成原論 ※4	1	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論および指導法	道徳教育原論	2	必修
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習研究原論 ※3	2	必修
	特別活動の指導法	特別活動原論	2	必修
	教育の方法及び技術	教育方法原論 ※4	2	必修
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育における ICT 活用 (小)	1	必修
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導原論	2	1科目選択必修 (1科目流用)
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談原論	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	(生徒指導・進路指導原論を含む。)		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習演習(小)※5	5	必修
		中高の免許取得の際に修得した教育実習のうち、3単位を流用	3	
	教職実践演習	既得済み単位を流用または教職実践演習(小)を履修※2	2	必修
最低修得単位数		〔必修科目〕 合計単位数 19単位(流用した単位を除く) 流用単位数 15単位		

※1 「単位の流用」を適用する場合、旧法において取得した中学校または高等学校免許を、新法に読み替えた学力に関する証明書で流用単位の確認を行います。新法に読み替えた中学校または高等学校の学力に関する証明書において、未修得の事項については、追加での履修が必要です。

※2 昭和63年改正法で教員免許状(中・高)を取得された方は、当時存在しなかった領域があるため、単位の流用ができないため、該当科目を履修する必要があります。

※3 新法における新設事項のため、原則として履修が必要です。

※4 備考十一による単位の流用の適用外のため、流用元の免許が幼稚園教諭以外の場合は、科目の履修が必要です。

※5 2011年度より、教育学研究科高度教職実践専攻の学生に限り、中高免許の教育実習の単位の流用を前提とした、小学校の2週間3単位の教育実習の履修を認めています。ただし、ご自身で実習校より内諾を頂いていることが前提となります。希望者は『教育実習演習(小)(2週間)』の科目登録を行ってください。

※ 教員としての勤務経験がある場合、必要となる単位数が少なくなるケースがあります。事前に教育委員会にて確認を頂いた上で科目登録を行うようにしてください。

教育学研究科の在学生または修了者が、小学校1種免許状を取得するためには、通常、2年間で教職科目約50単位(3週間の教育実習を含む)の修得が必要になります。在籍する研究科と当学部の時間割設定によっては、2年間で取得要件を満たすことができない可能性があります。大学院の正規授業との両立には、相当の困難が予想されますので、充分ご検討の上、出願してください。

(3) 「教育の基礎的理解に関する科目」等（選択）

該当する科目は設置していません。

(4) 大学が独自に設定する科目（小学校1種）

以下の科目は、「大学が独自に設定する科目」です。また、「教科又は教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」等の最低修得単位数を超えて修得した単位もこの区分に計上されます。

教育職員免許法施行規則に定める科目	設置科目	単位	履修方法
大学が独自に設定する科目	・介護体験実習講義	2	小・中学校のみ必須
	・人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）	2	選択
	・学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	4	
	・特別支援教育インターンシップ	4	
	・インクルーシブ教育インターンシップ	4	
	・生活科・総合的学習特論	2	
	・初等自然科学教育フィールドワーク	2	

(5) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

中学・高校免許と共通ですので、「中学校・高校免許状取得要件」の「(6) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」を参照してください。

(6) 教育実習演習（小）の科目登録について

教育実習の実施時期によって登録する履修クラスが異なります。以下を参照の上、履修申請をしてください。

教育実習の時期	履修クラス	実習先	取得可能免許状
4月～7月の場合	春学期開講クラス（AもしくはB）※	小学校	小学校
8月～1月の場合	夏秋期開講クラス（C）		

※春学期開講クラスを履修する場合、早稲田実業学校初等部で実習をする場合は「A」クラス、
母校で実習をする場合は「B」クラスを履修してください。

(7) 教職実践演習（小）の科目登録について

教職実践演習は2025年度より1クラスの編成となります。

博物館学芸員資格

博物館学芸員の資格を取得するためには、下表に示された科目の単位を全て修得する必要があります。免許状は発行されず、下表の科目を全て修得したことを示す「単位修得証明書」を就職先の博物館等に提出することにより、学芸員の資格を取得したことが証明されます。

なお、博物館法施行規則の一部改正に伴い、2012 年度より新しいカリキュラムとなっています。2011 年度以前に学部にて在学した学生が、2012 年度以降に科目等履修生等として当学部に入學した場合でも、新カリキュラムでの資格取得要件を満たす必要があります。旧カリキュラムで修得済みの単位がある場合は、先に在籍した大学で新カリキュラムに読み替えた「単位修得証明書」を発行してもらい、新カリキュラム上での不足単位を確認の上、履修計画を立ててください。

博物館に関する科目	最低修得単位	教育学部設置科目	単位数	履修方法
生涯学習概論	2	生涯学習	2	いずれか1科目群 必修
		生涯学習概論I	2	
		生涯学習概論II	2	
博物館概論	2	博物館概論	2	全科目必修
博物館経営論	2	博物館経営論	2	
博物館資料論	2	博物館資料論	2	
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	博物館展示論	2	
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	
博物館教育論	2	博物館教育論	2	
博物館実習	3	博物館実習	3	
最低修得単位数		19 または 21		

他大学の通信教育課程の履修

他大学で修得した単位と当学で修得した単位を組み合わせることで、教員免許状の申請を行うことも可能です。

例えば、他大学の通信教育課程の中には、より低廉な受講料で単位を修得することも可能ですので、以下 HP なども参考にしてください。

私立大学通信教育協会 <http://www.uce.or.jp>

ただし、教育実習および介護等体験については、正規生でないと受け入れていない大学もあるようですので、受講にあたっては、各自でよくご確認ください。

以 上